

## 看護職員の確保について

### 【提案事項】

特定地域看護職員確保支援事業の対象圏域拡大

### 【提案理由】

津山・英田圏域は、50歳未満の看護職員の構成割合が、平成22年65.0%、平成26年60.0%、平成28年60.9%と本事業の対象外であります。看護職員の高齢化が進んでいる医療機関が多く、また、いずれの医療機関においても看護職員確保が困難な状況にあります。

当圏域では、看護職員確保対策として、圏域の看護学生を対象に、県北地域の看護の魅力や地域の看護職員に対する期待を知る機会を持つことで、地域への愛着をはぐくみ、卒業後の圏域への就職を促進するため、看護職員と看護学生との交流会を開催していますが、その中で学生から、「(卒業後の入職に当たり)就職支度支援金を用意してもらえるとありがたい」との声がありました。

地域医療、在宅医療を維持、促進するために看護職員の確保は重要であることから、このような情状に鑑みて、当圏域を本事業の対象としていただくよう切にお願い申し上げます。

平成31年1月17日

岡山県保健福祉部

部長 中谷 祐貴子 殿

津山・英田圏域地域医療構想調整会議

議長 薄元 亮二